# おそうじ革命
# サービスマニュアル

# 洗面所
# クリーニング

# クリーニング料金　税込

洗面所：8,250円

作業時間：1-1.5時間

# 作業範囲

## 【作業範囲内】

・天井（脱衣所）
・壁面（脱衣所）
・窓（内側のみ）
・洗面ボウル
・鏡
・収納表面と内部
・排水口
・ゴム栓
・換気扇カバー＆フィルター
・照明カバー
・手すりやタオル掛け
・洗濯パン(洗濯機が無い場合)
・入り口扉両面
・床

## 【作業範囲外】※プラスワン

・換気扇内部　3,850円
・洗面ボウル水垢防止
（親水）コーティング　5,500円

# 資機材

## 【使用する資機材一式】

・青パット
・茶パット
・エコスポンジ
・ペール
・クリーンパット（5～10枚）
・糸入り養生シート
・テープなしマスカー
・腰袋道具一式
・バキューム
・仕上げ用ダイヤパット
・スクイジー
・脚立
・マスカー550

# 薬剤

## 【使用する薬剤一式】

**[アルカリ性洗剤]**
・万能（弱）
・カビ取り剤

**[中性洗剤]**
・エコ洗剤
・仕上げ剤

**[酸性洗剤]**
・カルシウム系スケール
・研磨剤

**【他】**
・親水コート
・ブリーチングスピリッツペースト

# 大まかな作業の流れ

①サービス前確認事項
②事前確認（機能動作・破損箇所）
③周辺養生
④モノの移動（作業スペースの確保）
⑤脱衣所の天井/壁面ホコリ落とし
⑥照明カバー/換気扇カバー清掃
⑦窓内側/建具拭き掃除
⑧洗面ユニット/上部ホコリ落とし
⑨洗面ユニット/上部/下部収納清掃
⑩洗濯パン清掃
⑪床清掃
⑫カランの清掃
⑬排水口の清掃
⑭洗面ボウルの清掃
⑮洗面ユニット鏡の清掃
⑯全体仕上げ/モノ戻し/作業後説明

# ①サービス前確認事項

**・作業範囲の説明をする。**
作業範囲がどこからどこまでなのか、作業をしない範囲はどこなのか、を明確にお客様にお伝えする。未然にクレームを防ぐことに繋がる。

**・写真撮影の許可を取る。**
作業する前にお客様の私物を移動させて頂きますので、元に戻せるように写真を取らせて頂いてもよろしいでしょうか？といったように、承諾を得て撮影をすること。

**・ご依頼理由を確認する。**
特にどこが気になられてご注文くださったのですか？とお客様に尋ねること。答えによっては、他サービスもご提案でき、ご満足できるサービスを提供しやすくなる。

**・過去の清掃依頼の有無を尋ねる。**
過去に他清掃業者様が入られたことはございますでしょうか？と尋ねること。知っておくと、営業にも活かすことができる。

## ・壁紙について

事前に次のような説明を行う。「壁紙については、擦りすぎると壁紙が傷んでしまったりムラになる恐れがあるので、落ちきらない可能性があります。」
汚れは落とせるがシミになっていると落とせないことを伝えること。

## ・鏡のコーティングについて

洗面台の鏡がコーティングされている場合、事前に次のような説明を行う。「この鏡はコーティングされているので、汚れを無理に落とそうとすると傷が入り、余計に汚く見えてしまう可能性があります。そのため、完全に落としきれない可能性があります。」
コーティングされているとエコスポンジもNG、落としきれない可能性を必ず説明して伝えること。

# ②事前確認
# （機能動作・破損箇所）

## 概要
作業前確認を行う。また、気になった点は、作業前にお客様に確認する。

## 注意点
換気扇⇒動作（弱・中・強）・異音など
照明⇒ライトON/OFF
傷⇒洗面所全体

## なぜ必要なのか？
責任を明確にするため
事前確認を怠ると、清掃後に機器に不具合が発生した時に、責任を負うことになる。破損も同様。

# ③周辺養生

## 概要

お客様の私物を置くための養生と、
自分の道具を直置きしないための養生をする。

## ポイント

養生の方法は、
・糸入り養生シート
・テープなしマスカー
現場の状況に合わせて選ぶこと。

## 注意点

作業外箇所にモノを移動させるため、お客様の邪魔にならないように配慮する。

# ④モノの移動
# （作業スペースの確保）

## 概要

作業進行の妨げになるモノを移動して、以下箇所のスペースを確保する。また、元に戻せるように、お客様の許可を得た上で写真を撮る。

## 注意点

・無理に移動させないこと。高価なもの、重たいものは無理に移動させない。
また、置いてあった並びのまま移動させると、戻すのが楽になる。
・歯ブラシの移動箇所には注意する。
⇒歯ブラシとコップは床には置かないようにする。
この上記2つを加味し、それでも移動させる場所がない場合は、お客様に説明をした上で、キレイなクリーンパットの上に置き、その上からさらに養生をかぶせておく。

## なぜ必要なのか？

作業効率アップと事故防止
作業スペースを確保して、作業効率をアップさせる。
作業事故は、「やりにくい状況」から発生することが多い。

# ⑤脱衣所の天井/壁面ホコリ落とし

## 概要

脱衣所の天井～壁面全てのホコリをクリーンパットで水拭き、乾拭きする。

## ポイント

ホコリが多い場合は事前に壁面のバキュームがけを行う。※壁用ノズルを使用する。
壁面に汚れがある場合、薬剤をクリーンパットに塗布し拭き上げる。その後、水拭きと乾拭きを行う。
ヤニや油⇒万能（弱）
すすや粉塵等⇒エコ洗剤
カビ⇒カビ取り剤

**床用ノズル　　壁用ノズル**

# ⑥照明カバー/換気扇カバー清掃

## 概要
清掃は高いところから順番に行っていく。

## ポイント
①換気扇カバーは万能（弱）で洗い、乾拭きする。
②照明カバーは万能（弱）で洗い、乾拭きする。
③汚れが強ければ万能（弱）で数回洗う。

## 注意点
照明カバーはとにかく割れやすい。
熱を持っている部分に、冷水をかけると、温度差で割れることもあるので、その場合は、少し時間を置いてからキレイにすること。

# ⑦室内側/建具拭き掃除

## 概要

窓の内側（サッシ）と建具を清掃する。
※窓の外側/網戸は不要。
（窓内側/入り口扉/スイッチパネル/タオル掛け/その他収納等）

## 資機材

クリーンパット・エコスポンジ・サッシブラシ・ミニスクレーパー

## 薬剤

エコ洗剤・万能（弱）・仕上げ剤

## ポイント

①角や隅はサッシブラシ又はミニスクレーパーを使用する。
②薬剤と道具で汚れを浮かした後に、クリーンパットで水拭き乾拭きを行う。
③汚れがほとんどなければ、クリーンパットで仕上げ剤拭きし乾拭きを行うと時短できる。
④汚れている場合は万能（弱）で汚れ落としするが、仕上げ剤は一番最後にまとめてやれば良い。
⑤建具にホコリの付着が多ければ、バキュームがけを行い、拭き上げる。

# ⑧洗面ユニット/上部ホコリ落とし

## 概要

洗面ユニットの上部に溜まったホコリを除去する。照明カバーがあれば外して清掃する。

## ポイント

①クリーンパットまたはエコスポンジで清掃する。
②落ちない場合は万能（弱）を使用する。
③手で触って、落ちているかしっかり確認すること。
④照明カバーは、外れなければ無理に外さないこと。
⑤角や隅は必ずサッシブラシかミニスクレーパーをを使用する。

# ⑨洗面ユニット/上部下部収納清掃

## 概要

洗面ユニットの上部収納を清掃する。
（在宅清掃の場合は表面と側面のみ。空室清掃の場合は内側も行う。）

## 資機材

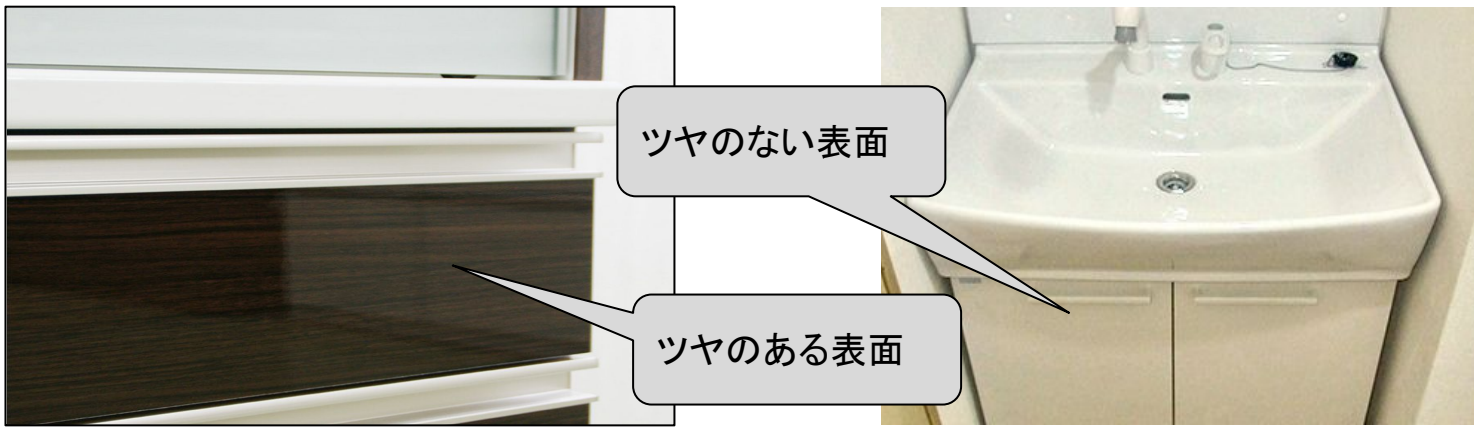
クリーンパット・エコスポンジ・サッシブラシ・ミニスクレーパー

## 薬剤

万能（弱）・仕上げ剤

## 注意点

ツヤのある表面の場合はエコスポンジは使用NG。
傷が入ってしまう恐れがある。



# ⑩洗濯パン清掃

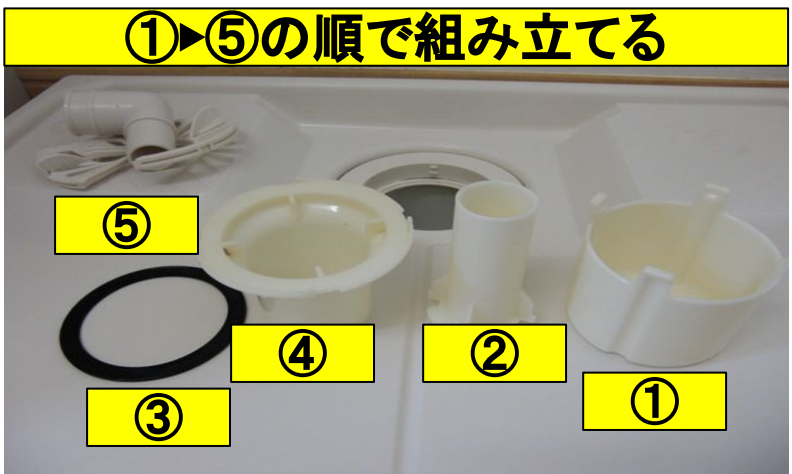
## 概要

洗濯パンを清掃する。

## ポイント

洗濯機がある
⇒見える範囲のみ清掃する。
洗濯機がない
⇒洗濯パンの排水口まで分解して清掃する。
分解後、
①排水口内部とパーツ
⇒カビ取り剤とサッシブラシで清掃する。
②洗濯パンの表面
⇒カビ取り剤とエコスポンジで清掃する。

※清掃後は下水のニオイがあがってくるので、①は新しい水を8割ほど入れる。



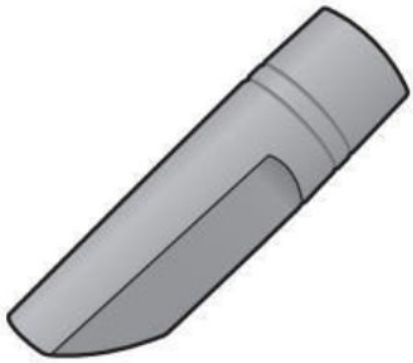
# ⑪床清掃

## 概要

床を清掃する。

## 手順

①バキュームがけを行う。
②クリーンパットまたはエコスポンジとエコ洗剤で拭き、その後に乾拭きする。
※角や隅は、「隙間ノズル」を使用する。



**バキュームの隙間ノズルのサンプル**

# ⑫カランの清掃

## 概要

カラン清掃を行う。
プラスチック製と金属製の2種類がある。

## 資機材

エコスポンジ・青パット・サッシブラシ・ミニスクレーパー・スティックスクレーパー

## 薬剤

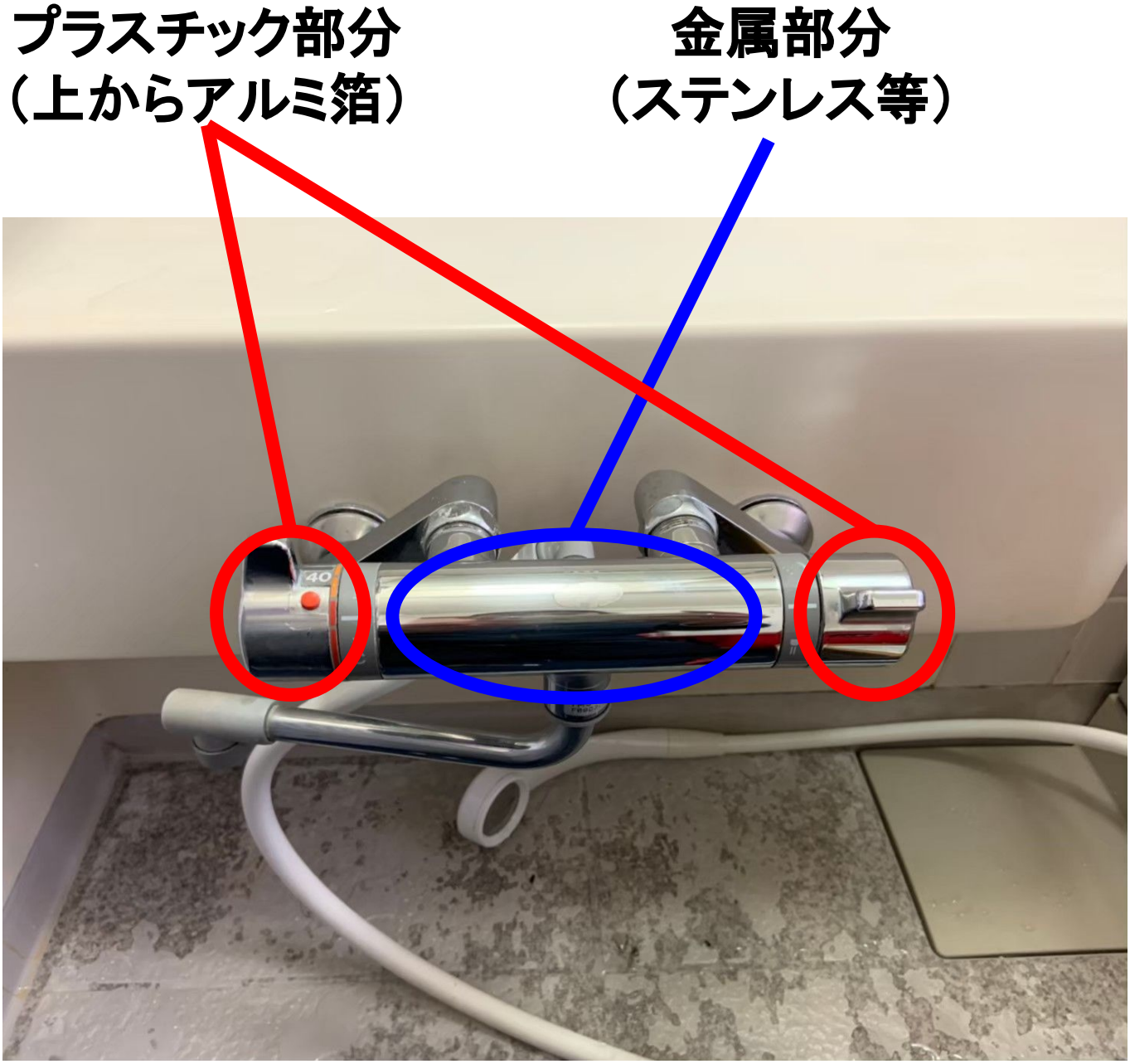
万能（弱）・研磨剤・カルシウム系スケール

## 手順

①表面についている皮脂汚れなどを、万能（弱）とエコスポンジで清掃する。
②固まった水垢があればミニスクレーパーやスティックスクレーパーで削り落とす。
③青パットに少量の研磨剤をつけ泡立て、カルシウム系スケールをさらにつけて、全体的に洗い細かい水垢を除去する。
④カラン背面部分の水垢除去はスティックスクレーパーを使用して削ると傷つかなくて良い。
⑤蛇口キャップ部分の水垢（カルキ）はミニスクレーパーやスティックスクレーパーで削ってから、カルシウム系スケールを青パットにつけ擦ると取れる。

# 注意点

①金属製のカランの表面にはカルシウム系スケールは使用NG！洗剤ヤケを起こすため。
②青色・赤色表示は消えやすいので、エコスポンジや研磨剤で擦る時は注意する。
③カランがひねるものではなくレバー式の場合、稼働させて汚れ残りを確認する。



# ⑬排水口の清掃

## 概要
排水口を清掃する。

## 概要
①ヘアキャッチャーを取り外しゴミを取り除く。
②ヘアキャッチャーと排水口内部とオーバーフロー内部に、カビ取り剤を塗布する。
③排水口内部はコンデンサーブラシで洗浄する。
④ヘアキャッチャーはサッシブラシで洗浄する。
⑤オーバーフローは洗面ボウルの清掃の際に清掃する。

## 注意点
①排水栓のゴムパッキン部分はやり残しが多いため、必ず確認すること。
②排水口内部に落とさないようにするため、コンデンサーブラシは曲げて使用する。
③作業後ライトを当ててしっかり確認する。

# ⑭洗面ボウルの清掃

## 概要

洗面ボウルの清掃をする。
プラスチック製とセラミック製の場合がある。

## 資機材

青パット・サッシブラシ・ミニスクレーパー・スティックスクレーパー

## 薬剤

万能（弱）・研磨剤・カルシウム系スケール

## 手順

①洗面ボウルは、青パットと万能（弱）で表面の石鹸カスなどの汚れを落とす。
②オーバーフローの内部は、スティックスクレーパーを使用してキレイにする。
③青パットに少量研磨剤をつけ泡立て、洗面ボウルにカルシウム系スケールをまき、残っている細かい水垢を除去する。
④素材としては柔らかいため、傷つきやすい。そのため、擦りすぎに注意する。

## 概要
陶器製の洗面ボウルの清掃をする。

## 資機材
茶パット・サッシブラシ・ミニスクレーパー

## 薬剤
万能（弱）・研磨剤・カルシウム系スケール

## 手順
①洗面ボウルは、茶パットと万能（弱）で表面の石鹸カスなどの汚れを落とす。
②オーバーフローの内部は、スティックスクレーパーと茶パットを使用してキレイにする。
③洗面ボウルにカルシウム系スケールをまき、茶パットで残っている細かい水垢を除去する。
④ダイヤパットで磨き仕上げる。

## 注意点
排水口付近の金物は茶パットでは擦らない。
シリカスケールは絶対に使わない。

# ⑮洗面ユニット鏡の清掃

## 概要

鏡清掃を行う。
クリーンパットがキレイなうちに鏡は一度拭き上げておく。

## 手順

①クリーンパットで鏡を水拭きし汚れを浮かす。
②青パットで鏡を優しく洗う。
③乾拭きを二度以上行う。

## 注意点

浴室用ダイヤパットと仕上げ用ダイヤパットでの洗面台の鏡磨きはNG

# ⑯全体仕上げ/モノ戻し/作業後説明

## 概要

洗面台と洗面所を仕上げ剤で乾拭き仕上げをする。また、汚れが残っている箇所は、すぐに手直しする。お客様の私物を元に戻し、運転確認・作業後説明をする。

## ポイント

①写真を確認しながら、お客様の私物を元の位置に戻す。
②戻す際に、私物が汚れている場合は、軽く拭き取る。
③どうしても落ちなかった汚れは、理由を「明確」に説明する。
④お客様に指摘された落とせそうな汚れは、すぐに手直しをする。